

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語発達障害Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次		学期及び曜時限	通年 木曜2限 他	教室名	405教室
担 当 教 員	糸賀 亜美	実務経験と その関連資格	医療福祉センターに勤務し、小児への言語聴覚療法の実務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
言語発達障害の基礎的概念を学ぶ。自閉症スペクトラムおよび注意欠陥多動症、限局性学習障害の障害特性を詳しく学ぶ。その上で、情報や行動観察から所見と考察の記載方法について学び、適切な評価と解釈ができ、発達段階と障害特性、個別特性に応じた具体的な支援方略を立案することが出来るようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「標準言語聴覚障害学 言語発達障害学」医学書院 【参考図書】「言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版」医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。						
《履修に当たっての留意点》						
ASD、ADHD、SLI、LDについての知識は臨床実習、臨床現場では必須である。積極的な取り組みを望む。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラム障害の定義と歴史について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラム障害の定義と歴史			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラム障害の3つ組について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラム障害の3つ組			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラム障害の評価・診断について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラムの評価・診断①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラムの評価・診断について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラムの評価・診断②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラムのコミュニケーション支援について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。	
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラム障害のコミュニケーション支援①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラム障害のコミュニケーション支援について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラム障害のコミュニケーション支援②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症スペクトラムのコミュニケーション支援について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	自閉症スペクトラムのコミュニケーション支援③		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	TEACCHプログラム障害について理解し、教材作成、実践ができる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	TEACCHプログラム障害の実践①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	TEACCHプログラム障害について理解し、教材作成、実践ができる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	TEACCHプログラム障害の実践②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	TEACCHプログラム障害について理解し、教材作成、実践ができる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	TEACCHプログラム障害の実践③		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	注意欠如・多動性障害の定義と歴史について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	注意欠如・多動性障害の定義と歴史		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	注意欠如・多動性障害の行動特性について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	注意欠如・多動性障害の行動特性		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	注意欠如・多動性障害の行動特性の支援と薬物療法について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	注意欠如・多動性障害の行動特性の支援と薬物療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	注意欠如・多動性障害の診断と評価について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	注意欠如・多動性障害の診断と評価①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	注意欠如・多動性障害の診断と評価について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	・講義の内容について、配布プリントを見ながら、ノートにまとめ理解する。
		各コマにおける授業予定	注意欠如多動症の診断と評価②		